

## 8-6 資格・CPD部会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：11回

#### (2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会、CPD 委員会の2委員会構成されている。RCCM 資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD 委員会にはCPD 推進専門委員会とCPD 監査専門委員会を設置して活動を行っている。

#### (3) 委員会の活動

##### a) RCCM 資格制度委員会

RCCM 試験検討WG、講習会WG、技術者資格WGを中心に活動を行った。令和2年度から、RCCM 更新登録に必要なCPD 単位を200単位/4年に変更する予定であったが、コロナ禍によるCPD 取得機会への影響を勘案して100単位/4年とし、令和3年度以降は150単位/4年、令和7年度以降に200単位/4年とした。

① RCCM 試験検討WG：コロナ禍により試験会場を確保できないため、令和2年度のRCCM 試験は中止せざるを得なかった。今後も同様の状況が想定されるため、従前からの検討に、実現性の検討を加え、R3 年度はCBT 試験による実施を提案した。

② 講習会WG：コロナ禍を勘案し、令和2年度の更新講習会は全てWeb 形式に移行させた。講師陣へのWeb 化の必要性説明、講習コンテンツ制作を経て、10月よりWeb による更新講習会が開催された。

③ 技術者資格WG：令和2年度は、平成27年度に新規登録（5年に1度の登録更新が必要）した点検・診断等業務および計画・調査・設計業務「19 施設分野、21 業務」の登録更新を申請し、全て登録された。

##### ○ 自主学習システム専門委員会

RCCM 登録更新に使用する令和2年度の自主学習教材について、原稿の審査、作成版の

チェックを行った。22 分野の部分改訂を行い、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を充実させた。

#### b) CPD 委員会

「①協会会員のCPD 取得支援」、「②CPD 監査の実施と結果の分析」、「③CPD ガイドラインの改定・CPD 形態の追加」を中心に活動を行った。

##### ① 協会会員のCPD 取得支援

コロナ禍により多くの集合研修が中止になり、CPD 取得が困難な状況となることが想定されたことから、講習会等のWeb 化への検討を行った。開催中止やWeb 開催を予定している委員会・支部への動画配信の提案・支援およびQ&A の提供・支援を行い、協会HP での配信により新たなCPD 取得機会を提供した。配信用動画は昨年度の8セミナーを上回る19セミナーを録画した。

##### ② CPD 監査の実施と結果の分析

令和2年度の監査として、CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。教育形態別記録は、講習会等への参加32%、自己学習23%、企業内研修22%、業務経験14%の順であり、昨年度と大きな変化はなかった。登録システムの改善や会員の登録への習熟により、昨年度より記録の不備が減少しており、CPD 記録登録は概ね適正に行われていることが確認された。

##### ③ CPD ガイドラインの改定・CPD 形態の追加

RCCM 更新登録に必要な単位数の変更、教育分野分類の多様化に伴う利用者のCPD 登録適正化およびWeb 講習への対応のため、CPD ガイドラインの改定を行った。また、CPD 形態の「技術資格の取得」対象について検討を行い、対象資格を追加した。

### 2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1～8-6-5に示す。

（資格・CPD部会部会長 花岡 憲男）